

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	良くなる	百貨店（営業企画）	・翌月より市役所が3年ぶりに新庁舎として近くに返ってくることで、職員や来庁する人々が商圏人口が増え、売上増も期待できる。
		ゴルフ場（経営者）	・営業戦略上、利用人数の増加よりも販売単価、客単価のアップを図ったのが成功している。3か月後以降の予約も既に確保をしており、好転することを確実視している。
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・食するのに手頃なサラダや総菜、デザート等の売上が伸びている。
		コンビニ（経営者）	・市役所の新庁舎の運用が1月から始まることで来客数増が見込める。
		通信会社（店長）	・現在の値引き施策が更に浸透すれば、現在の好調が続くとみられる。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・住宅メーカー等での建売棟、分譲による住宅販売営業展開が多く行われている。マスメディアによる広告や見学会等のイベントも定期的に行われ、住宅販売営業が活発になっているようにみられる。その働きかけにより、数か月後の景気は、やや良くなると見込む。
	変わらない	スーパー（企画担当）	・競合の開店等が無いこと及び前年のうるう年要因等で、今月同様、既存店は苦戦を強いられる見込みである。
		スーパー（販売企画担当）	・消費税増税などによる将来不安から消費意欲は落ち込み、また、デフレによる価格安からも売上は落ち込むと予測され、景気は厳しい状況が続くとみる。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価はこの数か月変わらず前年並で推移しているため、購買意欲も落ちてはいないが、来客数自体が減っている分、売上が落ちている。客数増につながる対策を立てているが、なかなか効果が出ない。
		コンビニ（エリア担当）	・新政権では景気対策を重視しているが、結果が出てくるのはまだ先になる。県に対する予算と那覇空港滑走路建築が2013年の県経済にとって大きな変動要因となる。
		衣料品専門店（経営者）	・年末ということでは少しは良くはあるが、セール等での需要喚起であり、プロパーの売上はさほど良くない。以前と比べてもあまり良くなり、これから先も良くなる材料がまだみえない。
		衣料品専門店（経営者）	・まだ予想しにくいですが、良くなることに期待したい。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・観光客の減少が当面続く。観光客もリピーターが多く、観光土産や観光地の新しい魅力又は継続的な文化、スポーツのイベント、プロ野球球団キャンプなどに期待している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・政権交代で景気向上期待の声も聞かれているが、まだまだ客の財布のひもは固く、飲食店の低価格競争も底の知れない泥沼の状態が続いている。
観光型ホテル（マーケティング担当）		・この先の予約状況から推測できる稼働率は、大きく変わらないとみている。韓国LCCの参入で、海外客数の動きは多少伸びると考えられるが、大きな需要増にはつながらないと予測している。	
住宅販売会社（代表取締役）	・消費税増税を意識した建築相談が増える可能性はあるものの、政権交代に関連しての現実的、具体的な「景気上向き観」が見通せない。		
やや悪くなる	その他専門店〔書籍〕（店長）	・ここ2、3か月の売上の推移をみると、上がる要素が見当たらない。	
悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街での客単価は相当落ちており、なかなか厳しい状況である。政権が自民党に交代しているが、即座に良くなるとはみていない。何らかの形で良くなればと期待している。観光客数はある程度あっても、やはり財布のひもが固くて売上にはブレーキがかかっている。その他の一般小売も大変苦戦を強いられている。	
企業動向 関連 (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品生産業（総務）	・新政権への期待がある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・年度末第4四半期となり、公共工事が増加する見込みである。
		建設業（経営者）	・引き合い及び相談件数が増加傾向にある。
		会計事務所（所長）	・金融緩和で企業投資がけん引されれば、最終消費も伸びるのではないかと期待している。
コピーサービス業（営業担当）	・政権が変わったことによって、いろいろな意味で良くなると見込む。		
変わらない	輸送業（代表者）	・伊良部架橋や新石垣空港等の大型物件は終わるが、農水関係、港湾関係や民間物件の今後に期待する。政権交代により雰囲気は良い。	

		広告代理店（営業担当）	・民間企業の販促投資が増大する傾向にないことから、現状の横ばいで推移するのでは、と感じている。そう考えると、引き続き公共のソフト事業に期待せざるを得ないのが現状である。
	やや悪くなる	輸送業（本社事業本部）	・取扱の物量が食品、雑貨、家電等種類別にも減少傾向にある。瞬間的な季節変動はあるものの、日常、継続的に取り扱う物量が増加する見通しは立っていない。現状の経済環境では減少傾向にあるとみている。
		通信業（営業担当）	・家電系の景気後退がテストング案件、組み込み系案件に影響すると予測される。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
(沖縄)	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・例年どおり求人数が増加する。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業の採用意欲が高まっている。早くも次年度に向けての採用活動が始動している。
	変わらない	人材派遣会社（総務担当）	・年末年始に向けてのこれといった需要がほとんど無く、受注案件の数も一進一退が続いている。企業側の年明け後の景気情勢を見極めたいという姿勢が感じられる。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・景気判断が「良い」の状況が1年以上続き、今月はやや伸び率が鈍化しているが、自民党政権に変わり、「良い」がもうしばらく続くと予測する。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-